



【特別企画 大討論会】

バイオメカニズムでキャッチする！！ えっ！何を？

-異分野交流からの創発に向けて-

オーガナイザー： 持丸 正明^{1†}, 木塚 朝博², 井上 剛伸³, 廣瀬 秀行³
¹産業技術総合研究所, ²筑波大学, ³国立障害者リハビリテーションセンター

Organizers: Masaaki MOCHIMARU^{1†}, Tomohiro KIZUKA², Takenobu INOUE³, Hideyuki HIROSE³
¹National Institute of Advanced Industrial Science and Technology, ²University of Tsukuba
³The National Rehabilitation Center for Persons with Disabilities

キーワード：バイオメカニズムとは？、バイオメカニズムなら？、バイオメカニズムでなきゃ？、なぜバイオメカニズム？

皆さんは、バイオメカニズム学会に、そして、バイオメカニズムという学問領域に何を期待していますか？運動計測、身体モデル、運動スキル、ロボット、福祉機器、リハビリテーション技術、異分野交流、ゲテモノ研究、知の楽しみ、老若男女の仕切りの無い雑談、新鮮な着想。研究で行き詰まったときのヒントをくれるというのもよく聞く話です。だいたい、横文字でなんだか分からないという人もいるかもしれません。そもそも、Biomechanisms という英語はありません。先人たち（日本人）が考えだした造語です。渡辺瞭元会長の言葉で、“Analysis と Synthesis の融合こそバイオメカニズム” というのが、強い印象として残っています。Biomechanics ではなく Biomechanisms が必要と考えられた理由がそこにあるように思います。

さて、過去は過去として。この大討論会では 20 年後の未来を描いてみようと思います。オーガナイザーは、おそらく 20 年後にはほぼ引退しているだろうという安直な発想のもとで、若手の研究者を中心としながら、参加者全員で老若男女関係の無い討論を企画しました。議論のポイントとしては、以下のようなことを考えています。

- (1) 人の動きの研究を中核とした、バイオメカニズム研究のおもしろさ
 - ・ 何がおもしろいのか？（これまでにやってきた研究から）
 - ・ 他分野（他学会）との比較
- (2) ワクワクする研究のために
 - ・ 深めていく（人の動きのはたらきを深く知る）
 - ・ 造り出す（人のはたらきをヒントに開発）
 - ・ 役立てる or 役立てない
- (3) 20 年先のバイオメカニズムに向けて
 - ・ 異分野との連携は？
 - ・ 新しい分野への展開は？

ファシリテータはデジタルヒューマン研究センターの持丸さん。議論の口火を切るのは、以下の皆さんです（予定）。

- 岩田浩康さん（早稲田大学創造理工学部 ロボット工学・リハビリテーション）
- 岩見雅人さん（東京農工大学工学部 スポーツ科学）
- 荻原直道さん（慶應義塾大学理工学部 運動計測・計算機シミュレーション）
- 金原秀行さん（豊田中央研究所車両安全研究室 衝撃生体工学・人体有限要素モデル）
- 中村美緒さん（国立障害者リハビリテーションセンター研究所 作業療法・福祉機器）
- 二瓶美里さん（東京大学大学院新領域創成科学研究科 福祉機器・生活支援工学）

会場からの活発な議論も是非お願いいたします。素朴な疑問、困りごと、力強い意見、消極的な独り言、提案、夢、妄想。議論のポイントから大きくはずれる意見も大歓迎です。いろいろな分野からのいろいろな意見をぶつけ合い、そこから出てくる問題解決の糸口、新しい発想、創造力、そしてそれを生み出す瞬間に立ち会ってみませんか？

車座になって、リラックスした雰囲気ですり合ひましょう。なんかおもしろそー！！是非、ご参加ください。

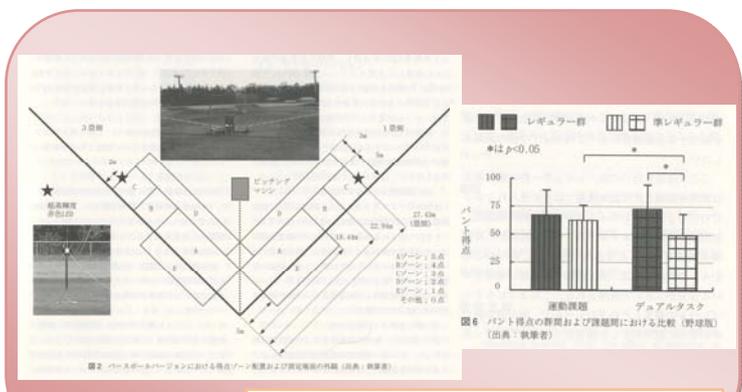
・・・・・・そして、そのまま懇親会になだれ込みましょう！！

日時：平成 25 年 11 月 16 日（土） 16：00～17：30

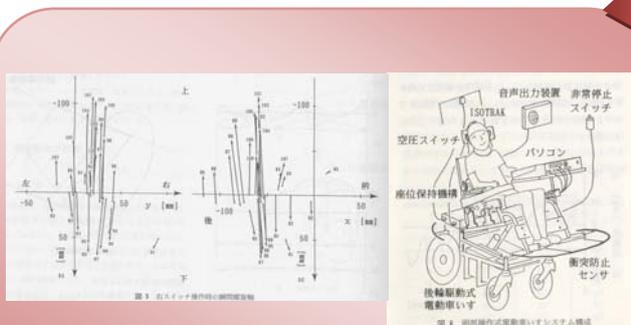
場所：国立障害者リハビリテーションセンター 本館 1 階 講堂



持丸正明, 他, 医用画像からの運動器系軟部組織の抽出支援技術, バイオメカニズム 13, 1996, 299-310



木塚朝博, 他, 高度なスポーツスキルを評価するデュアルタスクの可能性, バイオメカニズム 20, 2010, 11-20



井上剛伸, 廣瀬秀行, 他, 重度脳性麻痺者を対象とした頭部操作式電動車いすの開発, バイオメカニズム 12, 1994, 303-314

バイオメカニズム
過去の遺産は
活かされたのか？
活かされるのか？
そして、20年後は？

異分野交流
↓
新たな研究手法？

異分野融合 → **新たな学問分野の創成？**